

第1章 千代田区の現況

まちづくりの系譜

江戸のまち ～千代田区のルーツ～

明治：帝都東京の建設と都市の近代化

大正～昭和：
震災・戦災からの二度の復興と高度経済成長

昭和後期～平成：
急激な業務地化とそこからの回復、都市再生の進展

千代田区の魅力・価値

▶都心・千代田の魅力・価値

首都東京の風格・文化と創造性・活力が調和している豊かな都心環境に恵まれ、
利便性が高く、多様性が育まれている環境、災害対応面等で先駆的チャレンジが展開されている

▶都心・千代田ならではの個性ある“界限”

まちづくりの成果

定住人口の回復と都心の高度な機能集積、都市再生の進展

▶まちづくりを先導してきた主な取り組み

- ◇地域に応じたきめ細かな地区計画の導入（居住環境の維持、住宅床の誘導等）
- ◇住宅付置・開発協力金制度の運用（良質な住宅の供給と良好な住環境の整備）
- ◇計画的な大規模開発の誘導と都心再生【大手町・丸の内・有楽町】（秋葉原）（飯田橋）



▶主な成果

- ◇居住機能の確保による定住人口の回復
- ◇鉄道駅及び周辺の整備の進展
- ◇国際的な中枢業務拠点の再生と都心機能の多様化
- ◇開発と運動した防災性の向上と環境・エネルギー等の都市基盤の充実
- ◇千代田区から発信する社会実験やエリアマネジメントの発展

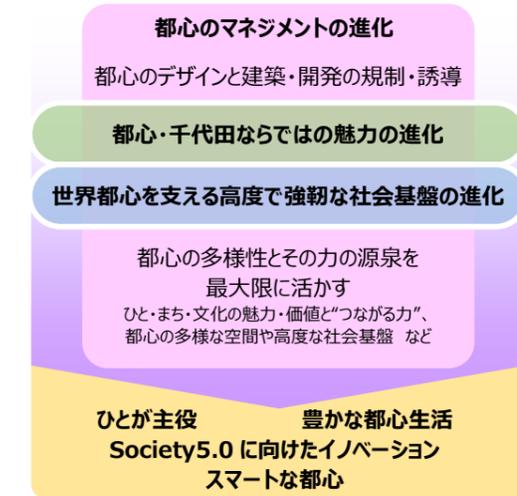
計画改定の視点

▶課題の変化への対応

- ◇住宅床等の量的な不足への対応等から、まちや都心生活の「質」(=QOL)の向上や、「界限の魅力」「創造性」「持続可能性」の醸成へと変化

▶まちづくりの進化のイメージ

- ◇千代田区の「まちづくりの系譜」や、個性ある界限の魅力・価値を十分に活かしながら、まちを進化させ、次世代に継承



▶進化の方向性

土地利用	都市・まち・エリアのトータルなデザイン
住宅・住環境整備	次世代の魅力ある「都心生活」
緑と水辺の整備	居心地のよい空間の多様性
景観づくり	都心の風格とまちの文脈がつなぐ界限
道路・交通体系整備	交通結節機能と移動ネットワーク
福祉のまちづくり	障壁のない多様な活動と交流環境
防災まちづくり	災害対応力(防災力・復元力・継続性)
環境と調和したまちづくり	都心の快適性と脱炭素、エネルギー利用
まちづくりの実現	連携と共創、まちづくりのマネジメント

境目のない創造的なまちづくり「連携」+「相互補完」+「相乗効果」

第2章 まちづくりの理念・将来像

理念

歴史に育まれた
豊かな都心環境を次世代に継承し、
世界の人に愛されるまち、千代田



将来像

つながる都心



“つながる都心”を実現するまちづくり（土地利用）の基本方針

まちづくり（土地利用）の基本方針

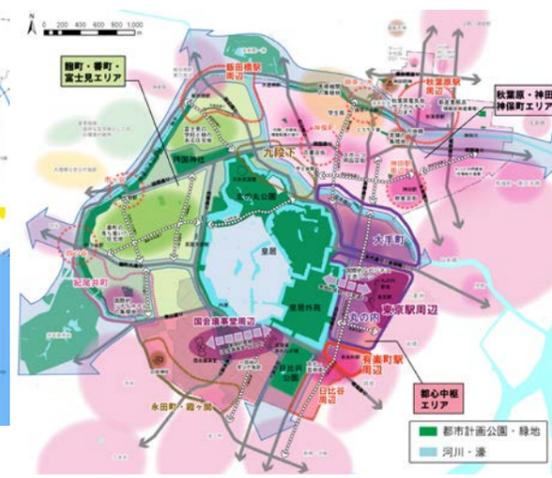
- ① 土地に宿る記憶、遺産、界限性と文化を、都心生活が楽しくなるまちの味わいと多様性、長く住み続けたい価値に熟成させていく
- ② “ひと”が主役となり、多種多様な活動の相乗効果と最適化で、都心の多様性を最大限に活かせる“スマートなまち”に進化していく
- ③ あらゆる場面で、次世代が魅力・価値を感じるまち・コミュニティのイノベーションを誘発する

都心の多様な資源・施設・空間の活用と価値創造のマネジメント

〔図〕広域構造図



〔図〕都心・千代田の骨格構造と土地利用



●都市骨格軸
環境創造軸／都市機能連携軸／エリア回遊軸

●拠点
都心・千代田の象徴的拠点
／国際ビジネス・文化交流拠点
／高度機能創造・連携拠点
／まちの魅力再生・創造拠点

●相互作用で高めあう3つの基本エリアの土地利用
麹町・番町・富士見エリア／秋葉原・神田・神保町エリア
／都心中枢エリア

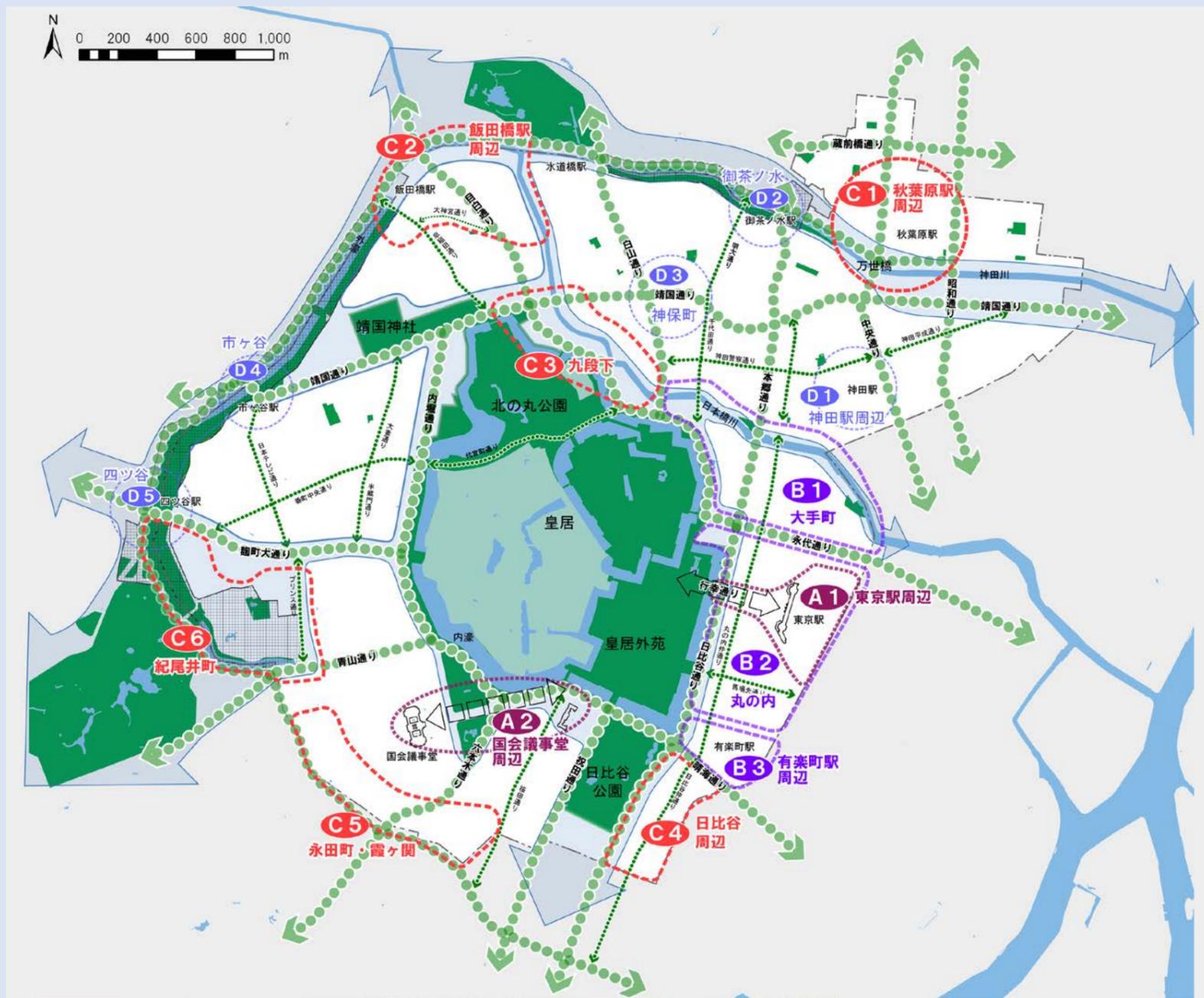
●戦略的先導地域
番町一帯の地域／飯田橋駅に近接する地域
／靖国通り沿道の地域／万世橋周辺の地域
／神田駅周辺～神田錦町一帯の地域

第3章 まちづくりの目標と方針

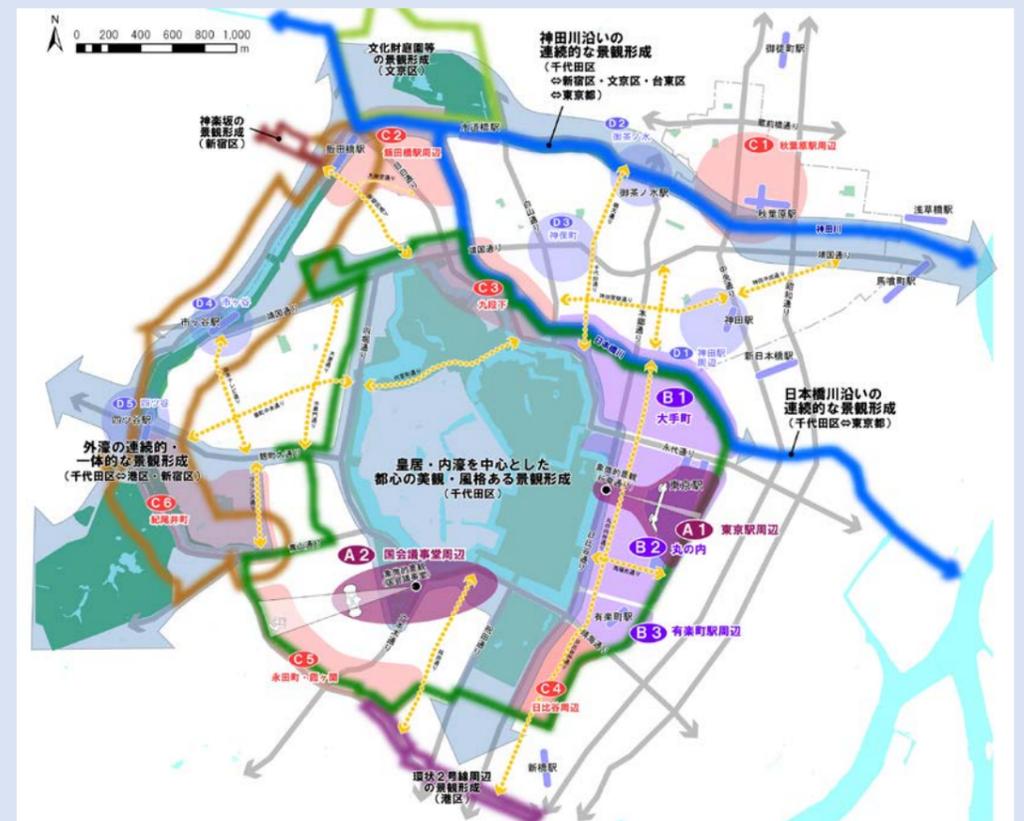
	まちづくりの目標	まちづくりの方針
方針1 豊かな都心生活を実現する住環境の創出	都心生活の多面的な魅力の向上、多様なスタイルでつながるまちとひとが持続的・創造的なコミュニティを育てていく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都心生活の新しい魅力を発見しながら、住まい方の多様なスタイル、住み続けられる環境を充実させていきます 2. 都心の多様な生活・活動が融合し、つながる“場”と“コミュニティ”を創造していきます (暮らし、祭、学び、交流、ビジネスなど) 3. 都心生活の環境を豊かにし、進化させる制度・手法を創造的に活用していきます
方針2 緑と水辺がつなぐ良質な空間の創出	皇居を中心とする豊かな緑と水辺のネットワークが拡がり、居心地のよい空間で、多様な生命が息づき、人々が豊かに過ごしている	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緑と水辺の心地よさが際立ち、安らぎを感じる都心環境を形成していきます 2. ひとの目線で多彩な空間の質と機能、連続性を強めていきます 3. 都心の楽しさ、居心地の良さを感じられる創造的な空間活用と管理・運用を広げていきます
方針3 都心の風格と景観、界隈の魅力を継承・創出するまちづくり	歴史と先進性が共存・融合する都心の風格をより際立たせ、味わいや風情、多様な生活と文化を感じられる界隈を伝えていく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 江戸城の遺構を骨格とした都心の象徴的な景観や眺望、風格ある街並みを継承し、楽しめるようにしていきます 2. 起伏のある地形やまちの個性を彩る界隈の要素、文化を活かした街並み、環境づくりを進めます 3. まちの文脈、個性、生業や文化のつながりを感じるまとまりあるエリアで、都心の風格や界隈性を継承し、魅力を高めるための制度・手法を確立していきます
方針4 道路・交通体系と快適な移動環境の整備	都心の歩行者の移動をより快適で楽しくするしかけや、多様な交通モードをつないで利便性の高い交通結節機能を進化させていく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広域的な都心アクセスの拠点における交通結節機能を充実させていきます 2. 駅とまちをつなぐ地上・地下の快適な移動環境を創出していきます 3. まちやひと、活動の特性・課題に応じて、まとまりあるエリアごとの最適な移動をマネジメントしていきます ▷ 多様でシームレスな移動ネットワーク ▷ 自動車交通と駐車場のマネジメント 4. 交通需要の変化や移動マネジメントの戦略に応じて、ひとの目線から道路空間の効果的な再編・活用を進めていきます ▷ 歩きやすいみち／使いやすいみち／おでかけが楽しいみち
方針5 多様性を活かすユニバーサルなまちづくり	都心ならではの豊かな価値の創造にむけて、ひと、まち、活動の多様性を活かすことを重視して、ユニバーサルな環境を広げていく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 拠点における交通結節機能を充実させていきます 2. 都心に滞在するひとが多様なスタイルでつながり、自分らしく、いきいきと活動・活躍できる環境をデザインしていきます 3. 子供の成長を応援し、高齢者が家庭や地域で長く、自分らしく暮らし続けられる環境を充実させていきます
方針6 災害にしなやかに対応し、回復力の高い強靱なまちづくり	大規模災害の発生を前提に、都心に滞在する多くのひとの生命を守り、都心生活と首都及び都心の中核機能の継続性を高め、備えていく	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模災害に備えて、耐震性に優れ、強靱で代替性のある多重化されたライフラインを構築していきます 2. まちの特性を考慮しながら、高経年の建築物の更新や共同化等による、耐震性・耐火性の向上を進めていきます 3. 震災、浸水被害などの災害のタイプの違いに応じた地下空間のリスクの低減対策、まちなかの避難等を阻害する要因の解消を進めていきます 4. 大規模災害発生直後の避難等の安全確保対策、都心生活と首都及び都心の中核機能の継続・早期復旧のための対策を進めていきます 5. 大規模災害からの創造的復興の道筋を事前に想定し、迅速・円滑に対応するための準備体制を整えていきます
方針7 高水準の環境・エネルギー対策を進めるまちづくり	脱炭素社会を展望して、都心の構造転換を進める	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四季の変化を心地よく感じ、清潔で過ごしやすい都心の環境を守り、育てていきます 2. 戦略的な開発事業等の誘導を通じて、都心の快適性を高める環境創造軸の創造と脱炭素社会への転換を先導していきます 3. 都心のエネルギー利用の最適化とマネジメントを行っていきます

境目のない創造的なまちづくり〔連携〕＋〔相互補完〕＋〔相乗効果〕

【方針2】 心地よさが際立ち、安らぎを感じる都心環境の形成



【方針3】 ① 周辺区と連携した首都東京の都心の風格と景観形成



【方針3】 ② 地域、界隈の個性・魅力の継承と創造



